

学校だより

令和7年度 第7号
岐阜市立岐阜小学校

ふるさと大好き

令和7年9月30日

岐阜市大工町1番地

TEL 058-265-6388

“子どもを幸せな大人に育てるために”

NPO 法人 日本ウーマンプロジェクト 理事長 毛利 理恵 氏



9/3(水)に開催された『子育て・大人育ちサロン』では、「**子どもの自己肯定感を育て、幸せな大人に成長させるための子育て**」について、講師の先生と参加者の対話から多くの学びをいただきましたので、シェアいたします。

冒頭では、子どもたちが自発的にボランティア活動に参加する様子が紹介され、「**親の背中を見て子どもは育つ**」という言葉の重みを改めて感じる時間となりました。PTA 活動への関わりが、子どもの成長に良い影響を与えることも強調されました。

ワークショップの中では、参加者が「自分の子どもにどんな大人になってほしいか」を考え、共有する時間がありました。「自分を大切にできる人」「思いやりのある人」「自分の気持ちを表現できる人」など、保護者の皆さんの温かい願いが語られました。

講師からは、**子育てのゴールを明確にすることの大切さ**、そして「**幸せな大人**」になるためには、**子ども時代に楽しい経験を積むことが必要**であると教えていただきました。特に、幼少期に形成される自己認識がその後の人生に大きく影響すること、そして子どもは「証拠集め」をしながら自分を理解していくという興味深い話もありました。



～9/3 子育て・大人育ちサロン～

また、「幸せな大人とは何か」についてのグループディスカッションでは、「自分を好きでいられる人」「日々の幸せに気づける人」などの意見が出され、日本人が幸せに気づく習慣が少ないことへの気づきもありました。

演習では、子どもの良いところを10個書き出す活動を通じて、**「苦手を減らすより、得意を伸ばす」**ことの大切さを学びました。さらに、「**ほめる**」と「**評価する**」の違いを理解し、**子どもの気持ちに寄り添った声かけ**の方法も紹介されました。

最後の質疑応答では、叱り方や習慣の変え方についての質問があり、「**主語を『あなた』ではなく『行動』にする**」ことで**自己肯定感を下げない叱り方ができる**こと、そして**親自身が幸せを感じる**ことが**子どもの幸せにつながる**というメッセージが印象的でした。

保護者の皆様へ ～行動のヒントをいただきました！～

- ☐ 子育てのゴールを明確にし、そこに向かって関わること
- ☐ 子どものよいところを毎日1つ伝える習慣をつけること
- ☐ 叱るときは「行動」に焦点を当て、自己肯定感を守ること
- ☐ 「～すべき」という価値観を緩め、選択肢として捉えること
- ☐ 苦手を減らすより、得意を伸ばす関わり方を意識すること
- ☐ 幸せを感じるアンテナを育て、日々の幸せに気づく習慣を持つこと



～2年：おもちゃづくり～

後期、私たちは子どもや保護者の皆様とどんどん対話を重ねながら、さらに一人ひとりの子どもの『主体性』と『自己肯定感』を育むことを大切に取り組んでいきます。引き続き、よろしくお願いいたします。